

6/1今日から、登校が始まりました。Reスタートです。友達は楽しい。授業が楽しい。給食が美味しい。部活が楽しい。学校が楽しい。そんな美瑛中を保護者の方と教職員と一緒に作りましょう。



一人が笑う 二人が笑う みんなで笑う 地球が笑う

私の好きなことばのひとつです。  
助詞を変えると伝わり方も変化します。

一人が笑う 二人で笑う みんなも笑う 地球も笑う

言葉だけから 絵文字にするとまた表情の変化と伝わり方の変化が見られます。伝え方やその時のころの在り方によっても、響く度合いが変化します。

相手への印象やとらえ方を変化させているのは、いったい誰なんですか？



思春期における教師と保護者の子育て褒め方スキル10  
褒め方のコツ⑧平素からプラスの声かけをしよう!

- ・「いやあ、楽しそうだね」⇔「こら！うるさい。チャイムが鳴ったら席に着け！」
  - ・「おや、いつも元気な君らしくないな。心配ごと？」⇔「おい、どうした、若いなら元気出せ！」
  - ・「おお、70もやったのか、頑張ったね」⇔「まだ30足りないね、もっと頑張りなさい」
- 教師の刺激が違くと生徒の反応が違う。マイナスの刺激にはマイナスの反応しか返ってこない。  
○言葉かけは、教師が意図するか否にかかわらず、プラスイメージかマイナスイメージの表明になる。  
○マイナスイメージをもたれているとなれば、生徒は心を閉ざさざるを得ない。

「ほうきを持ってきて」と言ったら、ちり取りも一緒に持ってくる子です。

[エピソード] 小学生の時、私のことを、先生が母にこう褒めてくださいました。

それ以来、自分の誇りとして、そして人生の教訓として、いつも心に留めています。千葉県「かこりん」さん(54歳)

先生の一言/お母さんの一言/お父さんの一言/師匠の一言 覚えていることは少ないかも…だからこそ大事&大切。







